



一関市の佐藤善仁市長(左)に要請書を手渡す佐藤一則組合長

9/27

施設改修費など 支援要請

J Aは営農振興と園芸や畜産農家の収益確保のため、支援要請を岩手県と一関市、平泉町に対して行いました。米乾燥貯蔵施設の設備等更新工事の計画工事額の5割の支援と青果物の輸送料金上昇に対する一部支援、配合飼料価格上昇額の5割の支援を要請しました。

9/25

タマネギの苗作りを学ぶ J A女性部千厩中央支部千厩支部



タマネギの種をまく部員

タマネギ苗作り講習会を開き、地元農家の指導で、病気に強く、貯蔵性に優れたタマネギ品種「ラッキー」の種まき作業を行いました。タマネギの性質や管理方法についても学び、多くの質問や体験談などをもとにアドバイスし合い、栽培に理解を深めました。

9/29

生協組合員と稲刈り交流 都里夢米生産振興協議会(一関)



刈り取った稲をホニオに掛ける参加者

生活クラブ生協岩手との稲刈り交流会を、佐藤雅幸さん(一関)が所有する田んぼで行いました。参加者は、鎌を使って稲を刈り取り、束ねてホニオに掛けました。昼食には新米の「銀河のしずく」で作ったおにぎりといもの汁を食べながら親睦を深めました。

9/30

米作りの大変さを感じて 赤荻小学校(一関)



稲刈りをする児童

5年生43人は、水田所有者の阿部邦弘さん(一関)や地元農家の指導で、5月に植えた「コシヒカリ」の収穫体験をしました。児童は、鎌で稲を刈り取り、束ねてホニオに掛けました。ひもで束ねる作業に苦戦しながらも一生懸命取り組み、出来秋を喜びました。

10/4

餅つきを楽しみに稲刈り 龍澤寺こども園(一関)



部員や保護者と刈り取りをする園児

年長児25人とその保護者は、J A一関青年部中里支部の指導で稲刈り体験を行いました。園児は、5月に田植えた「こがねもち」の稲を刈り取り、ホニオに掛けて天日干ししました。収穫したもち米は、11月に部員と一緒に餅つきをして味わう予定です。



10/5

**いものこ会で
秋楽しんで
磐井河原いものこ会
実行委員会**

第41回磐井河原いものこ会が一関遊水地記念緑地公園で始まり、開会セレモニーを開きました。初日は5組が利用し、地元特産の南沢土垂里芋を使った「いものこ汁」を楽しみました。今年から新たにいわて南牛肉の焼き肉セットも加わり、消費拡大を図りました。



サトイモの茎とネギをカットし開会を祝う関係者

10/2

**牛と触れ合い酪農に理解
岩手県牛乳普及協会**



平間さん⑤の指導で乳牛と触れ合う児童

酪農出前教室青空コースを一関小学校で行い、1、2年生192人が牛乳の飲み比べや牛との触れ合いを体験しました。校庭に乳牛1頭と子牛1頭が搬入され、酪農家の平間一夫さん（一関）の指導で牛と触れ合い、毎日飲んでいる牛乳や酪農に理解を深めました。

10/7

**機械化体系に理解深める
一関地方農林業振興協議会**



ネギ収穫機を操作する(株)いやさか農園従業員

ネギ収穫機の実演会を(株)いやさか農園(二関)の圃場で開きました。生産者や関係機関約40人が参加し、ネギの機械化体系に理解を深めました。土地利用型野菜の生産により農家の収益力向上を図るため、集落営農組織を中心に作付けを推進しています。

10/10

**生産者が生産状況をPR
岩手鉢物研究会**



市場関係者と話し合う生産者

令和6年度シクラメン販売プレゼンテーションを開きました。参加した会員は、これから出荷が本格化するシクラメンなどの鉢花を展示し、会員自ら生花市場関係者に品質などをPRし、生産数量や出荷形態、販売時期などをプレゼンテーションしました。

10/5

**文化祭で牛乳の消費拡大
大東高等学校**



ソフトクリームを配布する生徒

文化祭会場でソフトクリームと牛乳の配布を行いました。JAはソフトクリーム240食分の材料と200ミリの牛乳100個を提供。生徒3人がソフトクリーム作りと配布に協力し、牛乳の消費拡大と酪農への理解醸成に向け、PRを行いました。

10/18

家畜の御霊に感謝の祈り

畜霊祭をJ A 藤沢宮農経済センター敷地内の牛魂碑前で行い、生産者や関係機関40人が、管内の畜産振興に貢献した家畜の御霊に感謝の意をささげ、冥福を祈りました。那須元一専務は「厳しい畜産情勢を切り開き、産地を守っていきたい」と話しました。



玉串をささげる那須専務

10/11

大きなサツマイモに笑顔

平泉幼稚園・平泉保育所



サツマイモ掘りを体験する園児

5歳児27人は、J A 平泉青年部の指導で、5月に園内の畑に植えたサツマイモの収穫体験をしました。園児たちは、スコップを使って一生懸命に土を掘り、楽しく収穫しました。大きなサツマイモが土から顔を出すと、園児たちに笑顔が広がりました。

10/16

会話楽しみ寄せ植え作り

J A 女性部大東中央支部 浜民支部



寄せ植え作りを楽しむ部員

寄せ植え講習会を浜民市民センターで開き、部員28人が参加しました。コニファーやケイトウ、ビオラなどの

花苗を、草丈や彩りなどを考えながら寄せ植えし、会話も弾みました。出来上がった寄せ植えは、浜民地区文化祭で展示されました。

10/9

田植えをした米味わって



出来上がった米を贈呈

アグリ・タッグ・プロジェクトで農業体験をした桜町中学校2年生96人に、(農)ファーム滝沢(一関)が生産した「ひとめぼれ」の精米90kgを贈呈しました。小野寺晴哉さんは「田植えは大変だったが楽しかった。米について興味を持った」と話しました。

10/17

農業体験で業務に発想を



子牛の人工哺乳を体験する新人職員

令和6年度職員研修を畜産農家で行いました。入組3年目の職員が餌やりや除ふん作業などを体験しました。J A 園芸課の菅原夏音職員は「生産者がよく観察しながら作業していることが分かった。担当分野でも生産者視線を忘れず対応したい」と意欲を見せました。

10/19・20

いちのせき産業まつり農業祭



いいね!と思う青年部立て看板に投票を



バルーンリリースで開幕を祝う

いただきまーす



農産物を販売してPR

焼き上がりました!



いわて南牛肉コーナーには販売開始と同時に長蛇の列



いわて南牛サイコロ焼きも大人気!



サツマイモを収穫する園児

10/21

収穫したおイモ大きいね
 真滝幼稚園(一関)

3、4、5歳児18人は、JA女性部一関中央支部真滝支部の指導で、園内の畑に植えたサツマイモの収穫体験を行いました。大きいサツマイモの収穫に、園児たちは歓声を上げ、収穫を喜びました。サツマイモはみんなで観察した後、おうちに持ち帰り味わいました。



部員の指導を受ける参加者

10/19

子どもたちと一緒に収穫
 JA女性部藤沢中央支部

5回目となる畑の講習会を開き、子どもの居場所づくりと世代間交流の事業「たてやまプラザ」に参加する地元の子どもたちを招待し、サツマイモの収穫体験を行いました。子どもたちは部員の指導を受けながらサツマイモやサトイモを掘り、収穫を喜びました。